長福寺
11k 地点・あと 3k

佐倉市指定有形文化財
梵鐘
（元禄七年在銘）

この梵鐘は、元禄七年（一六九四）長福寺十七世日発住職のときに、江戸深川の工人田中七右衛門によって鋳造されたもので、
梵鐘の銘には長福寺の由緒等が記されています。
総高は、一四五センチメートル、口径は七六センチメートルで、江戸時代の梵鐘の特徴である肉の厚い鐘の裾下部がやや外に
出張る形を備えています。

下總國下波郡白井左弥宮郷
勝兵山長福寺常住
十七世日堯嵩位
當寺一結檀越建立之
元祿七甲戌曆
四月如意日

浅間神社
奉

岩富城跡

文明二年（一四七〇）のころ、原左衛門尉景廣がこの地に築城したといわれ、景廣の子胤行らが城主であった。

原氏は天正十八年（一五九〇）千葉氏とともに滅び、その後北条氏勝が相模国（現在神奈川県）玉縄の城主より岩富城に移され、一万石に封ぜられた。

養子の氏重が慶長十九年（一六一四）下野国（現在栃木県）富田に転封されたため、城は廃されるが、現在でも空堀、土塁などの遺構が明瞭に残っている。

昭和六十二年三月

佐倉市教育委員会

いわとみじょうし
岩富城跡
ここまで13キロ
あと1キロ

きょうぞうじ
教蔵寺
ここまで13．5キロ
あと0．5キロ

はちまんじんじゃ
八幡神社
あと0．5キロ

貸切